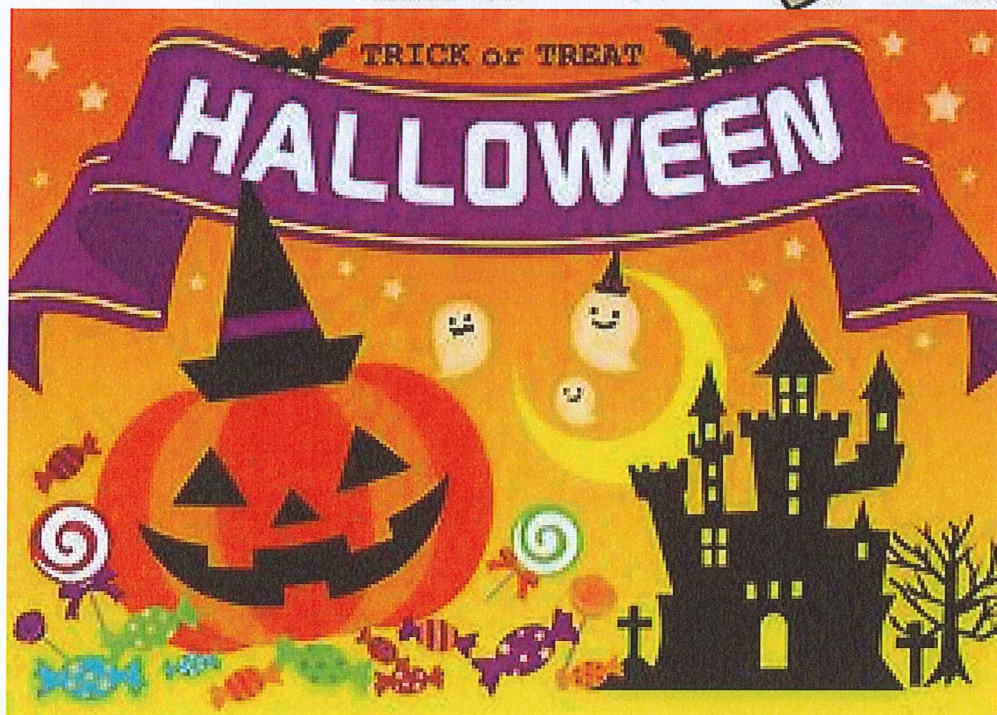
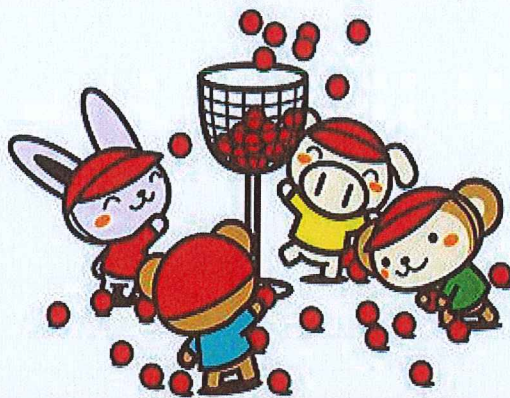
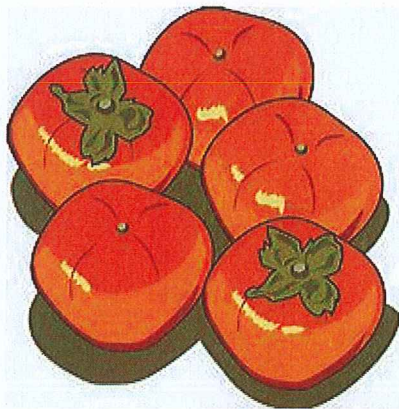


# アストモスガス かわら版



2018年 10月号

編集：アストモスリテイリング株式会社  
東北カンパニー 山形支店



# 9月1日「防災の日」を終えて

先般、経済産業省より平成31年度(2019年度)LPガス(流通・保安)関係の概算要求が公表されました。

今後、経済産業省は財務省と予算折衝を行い、国会に提出され審議し成立する予定となります。

## 1. 資源エネルギー庁関係

### (1) 災害等緊急時におけるLPガスの供給拠点等の維持強化

(12.8億円 2/3・1/2補助)

### (2) LPガスに係る流通合理化及び取引適正化に関する支援事業 (7.5億円)

①販売事業者指導支援事業(お客様相談) (3/4補助)

②LPガス地域防災対応体制整備事業(中核充填所)(定額補助)

③構造改善推進事業(1/2補助)

### (3) LPガス備蓄体制の強化(360.53億円)

## 2. 商務流通保安グループ関係

### (1) 石油・ガス供給等に係る保安対策調査等委託費(6.6億円)

①石油精製業総合保安対策

②石油ガス総合保安対策

### (2) 高圧エネルギーガス設備に対する耐震補強支援事業費補助金 (1.6億円)

①LPG等を貯蔵する球形タンクを支える脚部の補強に関する耐震補強

災害時に備えた社会的重要なインフラへの自衛的な燃料備蓄の推進事業費補助金 平成31年度概算要求額 12.8億円 (7.3億円)

資源エネルギー庁 石油流通課 03-3501-1320

事業の内容	事業イメージ
<p><b>事業目的・概要</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>災害時において、道路等が寸断した場合に、ガソリンスタンドなどの供給源の強靭化だけでは燃料供給が滞る可能性があることから、需要家側においても自家発電機等を稼働させるための燃料を「自衛的備蓄」として確保することは、災害時における施設機能の継続を確保する有効な方策です。平成28年4月の熊本地震においても、その有用性は実証されています(※)。</li><li>※ 熊本市内の病院が、停電時に本事業の支援を受けて設置した石油タンクと自家発電機を使用して、業務を継続しました。</li><li>このため、避難所や病院等の社会的重要なインフラ等への燃料備蓄を推進すべく、LPガスタンクや石油タンク等の設置を支援します。</li></ul> <p><b>成果目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>避難所や避難者が多数発生する商業施設・病院などの民間施設等への導入を促進するため、社会的重要なインフラにLPガス・石油製品の「自衛的備蓄」を促し、災害対応力の強化を目指します。</li></ul>	<p>分散型エネルギーであるLPガス・石油製品を利用した、LPガスタンク、石油タンク、自家発電設備等の設置を支援します。</p> <p><b>重要事例への燃料備蓄の推進</b></p> <p>社会的重要なインフラ</p> <p>商業施設 病院・診療所 公共施設</p> <p>多数の避難者、避難困難者が発生する施設</p> <p>LPガスタンク 石油タンク 自家発電設備</p>

条件(対象者、対象行為、補助率等)

国 → 補助 → 民間団体等 → 補助(2/3, 1/2) → 民間企業等

災害関連の内容が含まれています!

←資源エネルギー庁資料



## 「防災協定締結率」が 91%に

全国LPガス協会は、2018年3月末時点での都道府県別の防災協定締結状況をまとめた(6月1日集計)。

それによると、3月末時点で自治体数1,787に対し、総締結数1,632で締結率は91%となっている。前回調査(2017年3月末)に比べ78件増加、3ポイント上昇し90%台に到達した。

このうち締結率100%は34都道府県にまで増加し、前回調査時の29都道府県から**青森、宮城、静岡、広島、沖縄5県が締結率100%**として新たに加わった。**東北6県では、福島県を除く5県が締結率100%**となり、東北エリアの防災に対する意識の高さがうかがえる。

都道府県	自治体計	総締結数	締結率
青森県	41	41	100%
秋田県	26	26	100%
岩手県	34	34	100%
山形県	36	36	100%
宮城県	36	36	100%
福島県	60	30	50%
合計	1,787	1,632	91%

出典：『月刊LPガス』

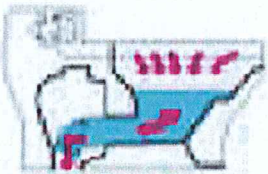


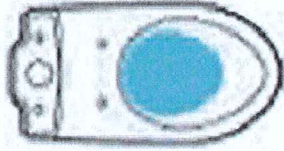


一部では公共施設への災害用バルクやLPガス機器が常設される等の事例も見られるが、今後は、締結された防災協定が、実際の有事の際に機能するための仕組み作り等が求められる。



# トイレの停電時・断水時の洗浄の仕方

タンクレストイレは、停電時、リモコンボタンを押しても電磁弁が作動しないため、自動洗浄できませんが、**断水時にはそれぞれ手動にて洗浄することが可能**です。(断水していない時、停電時でも電池を使用して洗浄できるものもあります) 緊急時の基礎知識として知っておきたいですね。

今回は、以下に各メーカーの方式の特徴をご紹介します。  
尚、実際の使用に当たっては、取扱説明書を見てご対応下さい。

洗浄方式	排出方式	水たまり面
<b>ターン トラップ方式</b> (Panasonic)	洗浄スイッチを押すとトラップの可動部が回転し、ポール内の汚物を水と一緒に排出します。 	水たまり面も広く汚物の付着を防ぎます。節水効果が高く、音も静かです。 
<b>サイホン ゼット式</b> (INAX)	ゼット穴構造から吹き出す水が強いサイホン作用を起こし、汚物を吸い込むように排出します。 	水たまり面が広いので、汚物が水中に沈みやすく臭気の発散も少なくなり、汚物の付着もほとんどありません。 
<b>洗落し式</b> (TOTO)	水の落差による流水作用で汚物を押し流す量も構造がシンプルな方式です。 	水たまり面が狭いためボール内肝臓面に汚物が付着しやすく、洗浄時に多少水はねすることがあります。 



# 山形のおすすめイベントのご紹介

## 国宝『羽黒山五重塔』ライトアップによる夜間参拝



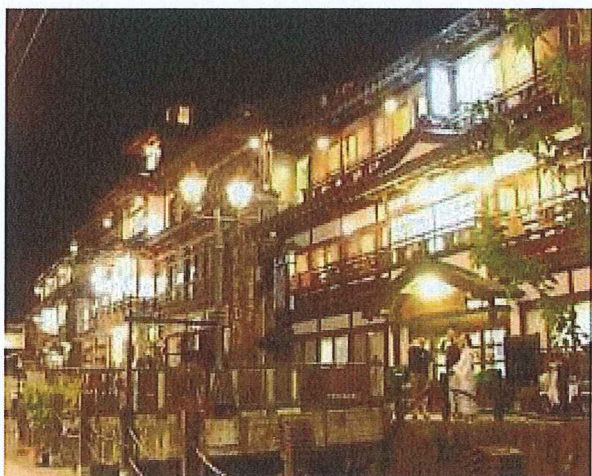
東の奥参りと称されてきた出羽三山から、東北の復興を祈りつつ、東北に希望の光を放つため、五重塔のライトアップによる夜間参拝を行います。

随神門から約300mの参道を通って、ライトアップにより映し出された五重塔の幻想的な姿を是非ご覧下さい。

2018年のライトアップ実施期間は、土日祝日及びお盆期間のみとなっております。10月28日が最終日となりますので、お急ぎ下さい。



## 花笠踊り(銀山温泉)



大正8年、尾花沢市のかんがい用水確保のため徳良湖築堤工事が行われ、その際に唄われた土搗き唄が「花笠音頭」の発祥とされています。

また、その土搗き唄に合わせて、笠を廻して即興で踊ったものが「花笠踊り」の原型とされ、現在では尾花沢のみならず、山形県を代表する文化のひとつとなっています。

なかでもおばなざわ花笠踊りは、笠を勢いよく廻す「笠廻し」が特徴で躍動感あふれる踊りです。

銀山温泉街にて5月～10月までの期間、毎週土曜日に開催されており、2018年は10月27日が最終日となりますので、お急ぎ下さい。